

製品名: ATF2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80947**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	ATF2
別名	HB16; CREB2; TREB7; CRE-BP1; MGC111558; ATF2
遺伝子 ID	1386.0
SwissProt ID	P15336
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATF2 の精製された組み換え断片。

背景

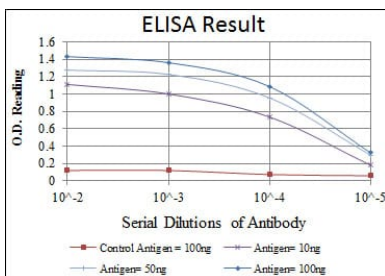
この遺伝子は、DNA 結合タンパク質のロイシンジッパーファミリーに属する転写因子をコードしています。このタンパク質は、八量体パリンドロームである cAMP 応答配列 (CRE) に結合します。このタンパク質は c-Jun とホモ二量体またはヘテロ二量体を形成

し、CRE 依存性転写を刺激します。また、このタンパク質はヒストンアセチルトランスフェラーゼ (HAT) でもあり、in vitro でヒストン H2B および H4 を特異的にアセチル化します。したがって、クロマチン構成成分に直接作用することで転写を活性化する配列特異的因子の一種である可能性があります。追加の転写バリエーションが同定されていますが、その生物学的妥当性は未だ確立されていません。組織特異性: 脳で豊富な発現が認められます。

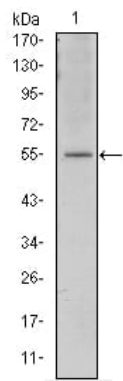
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Akt シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路

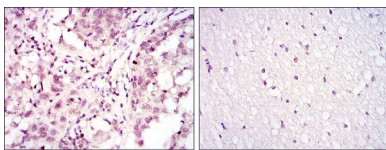
画像データ



赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



NIH/3T3 細胞溶解物に対する ATF2 マウス mAb を使用したウェスタン ブロット分析。



DAB 染色による ATF2 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト肺癌 (左) および脳組織 (右) の免疫組織化学分析。